

令和5年度 指定管理者の管理運営に対する評価シート

		施設番号		16
部	子ども健康部	課	子育て支援課	

1. 指定概要

施設概要	名称	安土第1・第2こどもの家		建設年	平成16年 (平成26年増築)			
	所在地	近江八幡市安土町小中783番地1		利用対象	地域			
	設置目的	児童福祉法の規定に基づき、市内の小学校に通学する児童で保護者が労働等により昼間家庭にいないものに対し、授業終了後適切な遊び及び生活の場を与えて健全育成を図るため、放課後児童健全育成事業を実施する。						
	規模	敷地面積968㎡、延べ床面積241㎡、階数 地上2階						
	指定管理開始年度	平成17年						
指定管理者	名称	学校法人ヴォーリズ学園						
	所在地	近江八幡市市井町177						
指定管理業務の内容	①こどもの家における放課後児童健全育成事業の実施に関すること ②こどもの家の施設及び設備の維持管理に関すること ③その他こどもの家の管理に関し市長が必要と認める業務							
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日 (5年間)							
指定管理料	令和3年度 :	千円	令和4年度 :	千円	令和5年度 :	千円	令和6年度 :	千円 (見込)
利用料金制	採用している		選定方式	公募		応募者数	1者	

2. 施設の設置目的の達成に関する取り組み【有効性】

		目標と具体的な取り組み(計画)	令和5年度実績	所管課による検証
施設設置の目的達成状況	施設の維持管理業務	①施設の維持管理及び整備 建物、施設の安全点検、修繕、除草作業等	①施設の維持管理及び整備を実施 ・ 日常の掃除、施設の安全点検、除草作業等、支援員が随時実施 ・ 保護者会の奉仕作業の実施	(よかったと評価できる事項) 児童の安全確保に努め、適切に施設の維持管理を実施した。特に令和5年度は、計画的に多くの修繕対応を実施した。  (改善を要した事項と対応) 特になし  (課題) 特になし
	(サービスの運営向上策)	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換 ②利用料金の徴収 ③学校、保育所等との情報交換 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長	①利用者(保護者)との日常的な連絡、情報交換、保護者会や学年懇談会を通じて意見交換を実施。その他学童だよりや送迎時の日常的なコミュニケーションによる。 ②利用料金の徴収 毎月徴収 令和5年度 第一 5,798千円/第二 5,942千円 現金取り扱いの事故防止の観点から、口座振替を利用。 ③学校、保育所等との情報交換 必要に応じ随時実施 ④利用者ニーズに応じた延長保育の実施、開所時間の延長 19時まで延長保育の実施	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、事業が実施された。また、ICT機器を導入するなど、事業計画に工夫がされていた。  (改善を要した事項と対応) 特になし  (課題) 月次報告や事業報告を期限内に提出ができていない。 外遊びでの安全対策が不十分である。
	(提案内容の実施業務) 自主事業 その他の業務	なし		(よかったと評価できる事項)  (改善を要した事項と対応)  (課題)

施設設置の目的達成状況	(利用促進策)	対象児童の公平な利用の確保とサービスの向上を図る	(安土第一/安土第二) ・開設日数： 267日/ 267日 ・延べ利用者数：9,220名/9,726名 ・平均登録児童数：48名/ 49名	(よかったと評価できる事項) 国基準や市のガイドラインに則り、施設利用が実施された。
				(改善を要した事項と対応) 特になし
				(課題) 特になし

### 3. 効率性の向上に関する取り組み【効率性】

収支状況	前年度実績	令和5年度実績	(よかったと評価できる事項) 市補助金支給要綱に基づき適正に運営された。
	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> 安土第一/安土第二 ■収入 (13,930千円/13,762千円) 保育料等 5,278千円/ 5,726千円 補助金 8,652千円/ 8,036千円 ■支出 (13,851千円/13,683千円) 人件費 10,290千円/10,335千円 管理運営費 3,561千円/ 3,348千円	指定管理料は0円であるが、施設の管理、事業の経費については、放課後児童クラブ運営費補助金を用いている。 <参考> 安土第一/安土第二 ■収入 (14,432千円/14,504千円) 保育料等 5,798千円/ 5,942千円 補助金 8,634千円/ 8,562千円 ■支出 (14,311千円/14,605千円) 人件費 11,556千円/12,300千円 管理運営費 2,755千円/ 2,305千円	(改善を要した事項と対応) 特になし
			(課題) 特になし

### 4. 利用者の満足度調査等【有効性】

実施内容・時期	施設内に意見箱を設置、ならびに保護者会にも参加し、意見集約をしている。
評価頂いている内容	以下のような評価を頂いた。 お迎えの際、支援員のあいさつが良いこと。多くの利用者を預かっていること。支援員が児童たちと遊んでいることや関わっていることが多く、安心して預けられる。児童が喜んで学童に通っていること。宿題を見てもらえていること。
苦情・意見等	学童の運営に対応して、以下のような苦情・意見を頂いた。 学童で忘れ物が多い。学童でのトラブルは学童で解決してほしい。職員が少ないと感じ場面がよくあるため、お迎え対応・宿題のチェック等、職員を増やしてほしい。 施設に対して、以下のような苦情・意見を頂いた。 施設が狭い。駐車スペースが狭く危険。また、安土のはな保育園の駐車場と隣接している為、お迎え時混雑して危険。

### 5. 指定管理業務に関して、指定管理者から市への要望

今年度も施設に対し、適正規模人数を超えての児童を受け入れており過密状態のまま保育をしている状況は変わっていない。「支援員の目が全体に行きとどかず、子どもの様子を把握できない」「騒々しく落ち着けない」「ささいなことでケンカになる」「遊びや活動を制限せざるを得ない」という支援員・補助員の声はここ数年経っても変わっていない。引き続き、放課後児童クラブの増設や既存の施設の増改築を実施していただき、適正規模での運営ができるようにしていただきたい。

### 6. 指定管理者の自己評価コメント

児童数が多い中、支援員・補助員が柔軟に対応しており、地域の子育て支援としての責務を果たしていることが最も評価できる点と考える。また、子どもたちの多くが学童を楽しんでいると感じており、保護者もおおむね良い印象を持っていただけた。ただ、子どもたちの活動や遊びに制限が必要になっていることや、大人数の受け入れにより安心・安全な生活環境の保障が引き続き難しいことが課題と感じた。  
新型コロナウイルス対応が落ち着き、4年ぶりに再開した行事等に支援員・補助員が献身的に務めたことも評価できる点と考える。これからも子どもたちや保護者と共に、地域の子育て支援を育むよう努めていく。

### 7. 所属の総括コメント

国や市の基準に基づく事業運営がなされている。令和5年度、計画的に施設修繕に努めて頂いたことなどが評価できる。また、ICT機器の導入により、利用者の利便性の向上させる等、工夫がされた。その他、地域とのつながりを大切に活動を取り入れる等の工夫や姿勢などが評価できる。  
一方で、事務書類の提出が期限内になされていないことが多い。余裕をもった書類提出をしていただきたい。また、施設前の道路で遊んでおり、車両事故の恐れがあるため、近隣の公園を活用するなどして改善に努めていただきたい。